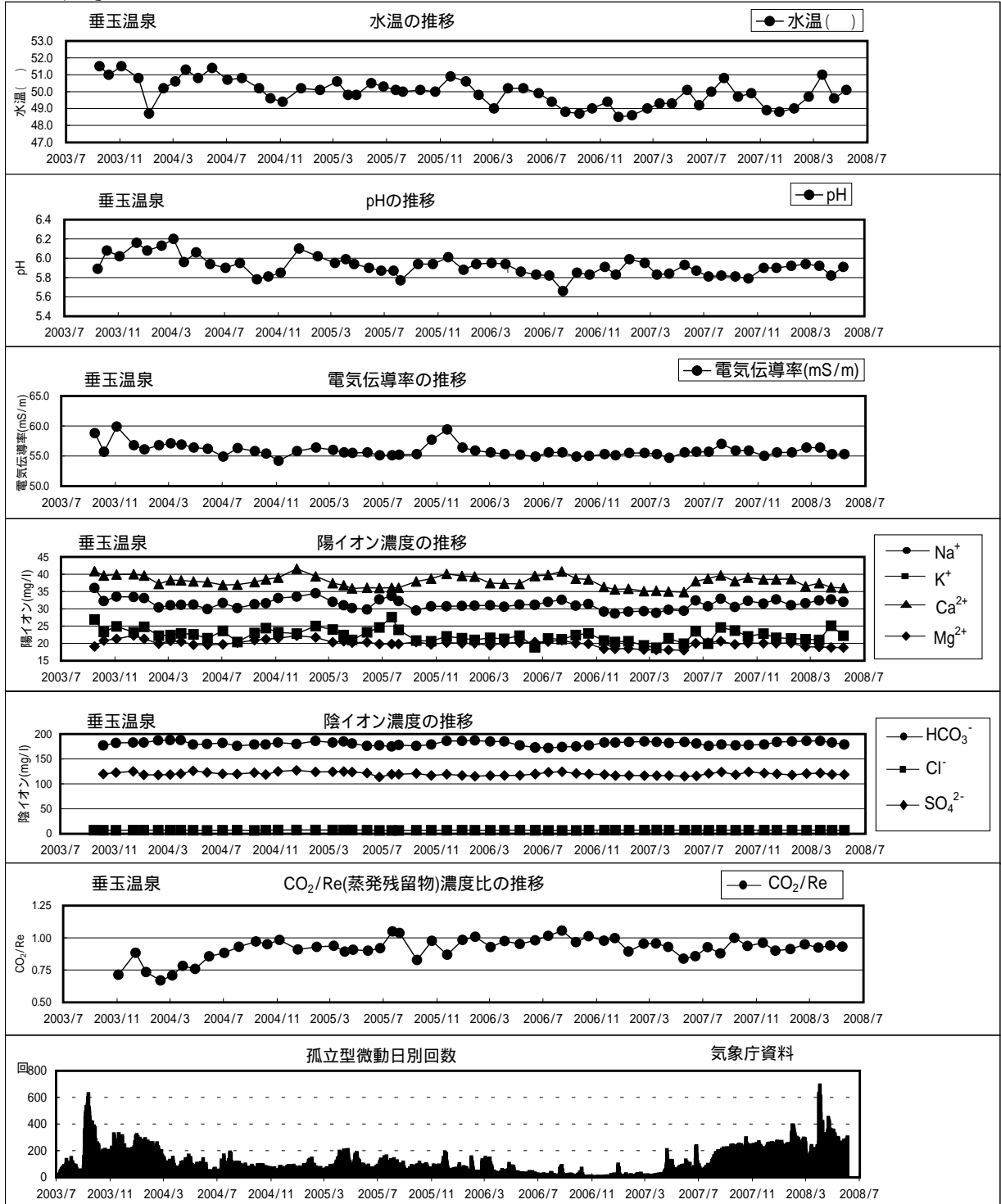


垂玉温泉



阿蘇垂玉温泉山口旅館(本湯)の水溫・pH・電気伝導率・主要化学成分濃度・CO₂/Re(蒸発残留物)濃度比の推移 (孤立型微動日別回数は気象庁資料)

孤立型微動回数は、2007年8月頃から、やや多い状態で経過している。栃ノ木温泉の水溫が、今年3月頃から上昇しており、2003年9月の観測再開以降で、最も高い値を示している。

栃ノ木温泉と垂玉温泉の主要化学成分や二酸化炭素濃度には、有意な変化は見られない。両温泉の溶存二酸化炭素相対濃度(二酸化炭素濃度 / 蒸発残留物濃度)は、2004年の夏以降、若干の変動はあるが、やや高いレベルを維持している。